

アカテ トールユニット 設置説明書

もくじ

設置説明書

ページ

1. 設置をされる方へのお願い……………1
2. 安全上のご注意……………1～2
3. 設置前のご確認……………2～3
4. 設置方法……………3～6
5. 点検および仕上げ……………7～8
6. お願い事項……………8

1. 設置をされる方へのお願い

- キッチン設置者の安全と使用者の安全確保のため、この設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい設置を行ってください。
- 本説明書は、トールユニットのものです。その他のキャビネットは、それぞれの添付する設置説明書をご覧ください、正しい設置をおこなってください。
- 天板高さ900mmのプランの場合は、別途台輪スペーサーが必要になります。台輪スペーサーに付属の設置説明書を合わせてお読みください。
- 設置完了後、各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。
- 取扱説明書は流し台に同梱されていますシステムキッチン取扱説明書をご覧ください。なお、トールユニットのみご購入された場合は、弊社営業所から取扱説明書をお取り寄せ、お客様にお渡しください。
- 本設置説明書は紛失や汚れの無いように保管し、設置完了後お客様にお渡しください。

2. 安全上のご注意

必ずお守りください

設置の前、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。

- 表示内容を見逃して誤った設置をしたときに生じる危機や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

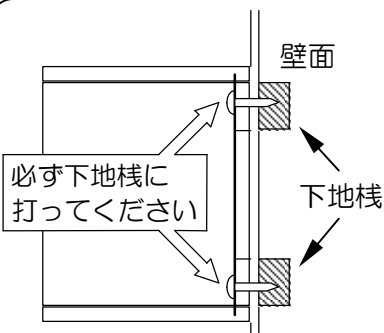
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。



警告



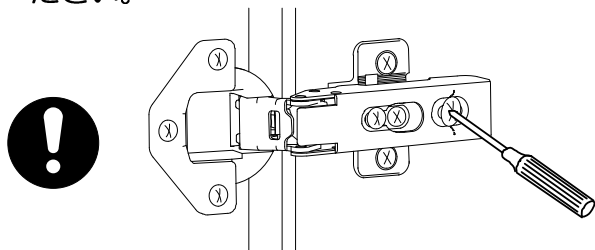
キャビネット固定ネジを打つ部分には、十分な強度をもつ木質の下地材があることを確認し、所定の付属ネジを使用して、手順通り確実に行ってください。



ネジ打ち部分に下地材が無かったり下地材の強度が不足している場合や、短いネジ、細いネジを使用するとキャビネットが転倒・脱落して大けがをするおそれがあります。

注意

- 設置完了後は、扉の傾き・ガタツキ・丁番や引戸レールのゆるみのないことを必ず確認してください。



- 扉、引戸の取付けに異常があると、使用中に扉が落下してけがをするおそれがあります。

- 設置に使用される溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品については、それぞれの注意表示にしたがって、正しくお使いください。



- 誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因になるおそれがあります。

- 棚板を設置する時は、棚受ダボの正しい向きで、すきまのないよう根元まで確実に差し込んでください。



- 棚受がはずれ、食器などが落下してけがをするおそれがあります。

3. 設置前のご確認

- 注文した製品が納入されているか確認してください。
 - 設置する場所の直角・水平レベルを確認してください。
 - トールユニットはキャビネット背板より壁面にネジで固定します。したがって、ネジ打ち位置の壁面下地が十分な強度を有するか確認してください。
- 固定下地部分は、ネジ固定位置を中心に、幅100mm以上・厚み12mm以上の十分な強度を持つ合板を壁面下地に取付けてください。

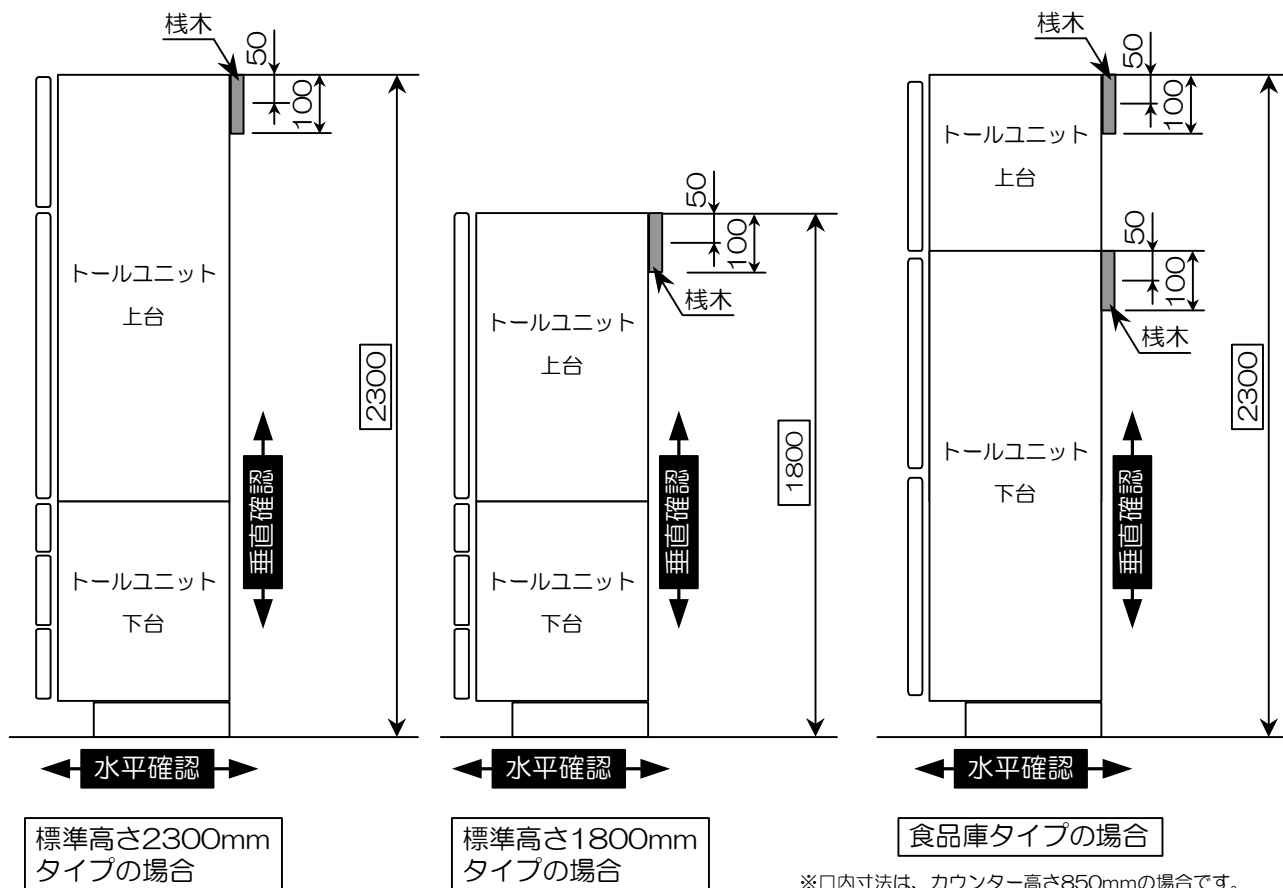
注意



必ず守る

- 水平・垂直・直角基準を確実に出してください。

水平・垂直・直角が出ていないと、ユニットがひずんだり、傾きます。また引戸タイプは引戸がスムーズに開閉できなくなるおそれがあります。



※口内寸法は、カウンター高さ850mmの場合です。
 カウンター高さ820mmの場合、□-30mmになります。
 カウンター高さ900mmの場合、□+50mmになります。

引戸タイプ トールユニット上台の構成部品

- 引戸タイプ トールユニット上台は上台キャビネット、引戸上下レール、引戸扉2枚、サイドフィラー、アンダーフィラーで構成します。

F-OUH90(L)

① トールユニット上台

ヒキドF-OUH90

② 左引戸本体

③ 右引戸本体

レールF-OUH90

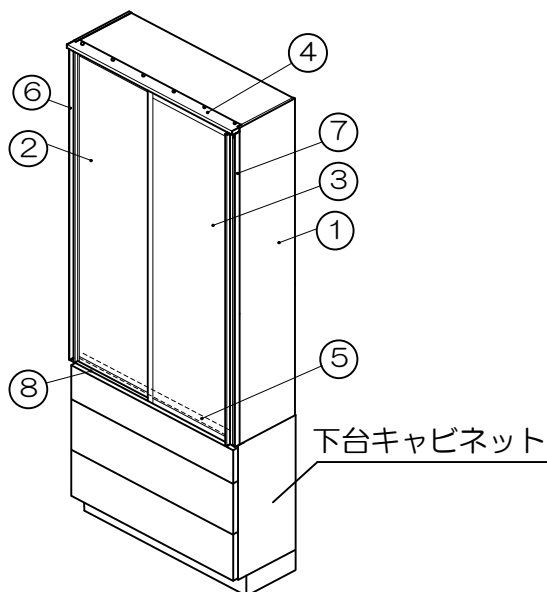
④ 引戸上レール

⑤ 引戸下レール

⑥ サイドフィラーL

⑦ サイドフィラーR

⑧ アンダーフィラー



4. 設置方法

下記の手順にしたがって設置作業を進めてください

- 引戸タイプ以外の設置手順（3～4ページ）

1. 壁面取付用下穴の加工

2. キャビネット連結用下穴の加工

4. 上台・下台の連結および壁面固定

※項目3および5～7は引戸タイプのみの項目

- 引戸タイプの設置手順（3～7ページ）

1. 壁面取付用下穴の加工

2. キャビネット連結用下穴の加工

3. 上レールの取付

4. 上台・下台の連結および壁面固定

5. アンダーフィラーの取付

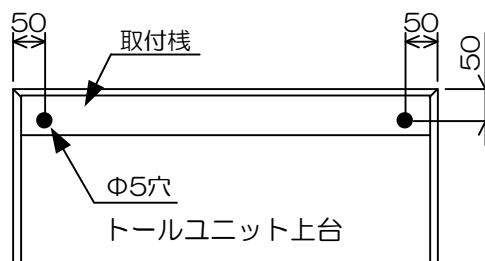
6. 引戸の吊り込み

7. 下レールの取付

8. サイドフィラーの取付

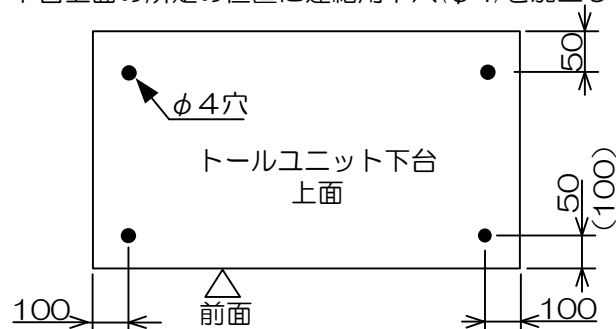
1. 壁面取付用下穴の加工

上台後板の所定の位置に壁面取付用下穴(φ5)を加工してください。



2. キャビネット連結用下穴の加工

下台上面の所定の位置に連結用下穴(φ4)を加工してください。

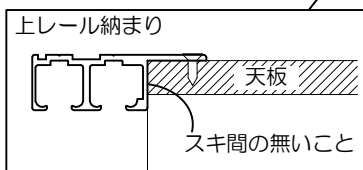


注) (100) は上台に引戸タイプのキャビネット F-OUH90を乗せる場合

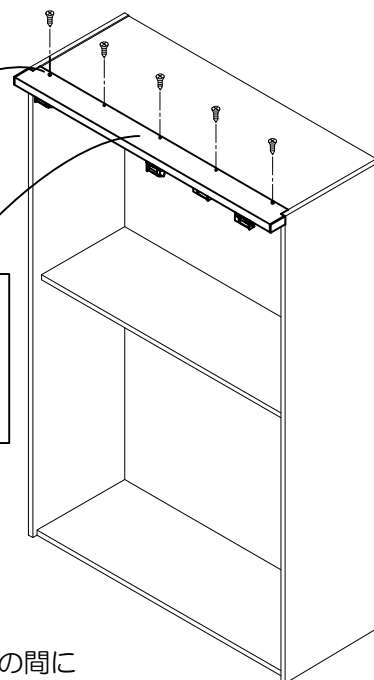
3. 上レールの取付 (引戸タイプのみ)

右図の要領で上台の天板上に上レールを取付けてください。

注) 下レールとフィラーの取付は
引戸吊り込み後に行います。



皿ネジ
4×14
5本



4. 上台・下台の連結および壁面固定

【1. 設置前の確認】

キャビネットを仮置きし、レベルがでていない場合は、床とキャビネットとの間に
適当なスペーサーをいれてレベル調整を行ってください。

【2. 上台と下台キャビネットの連結】

①所定の据付位置に下台キャビネットを設置してください。キャビネットの前面及び側板を合わせるように
して上台キャビネットを設置してください。

注) ただし上台がF-OUH90の場合、下台よりキャビネットの奥行が短くなります。
上台は後面合わせで設置してください。

②連結用下穴より、付属ネジ(トラスタッピンネジ3.5×27) 4本でキャビネットを連結してください。

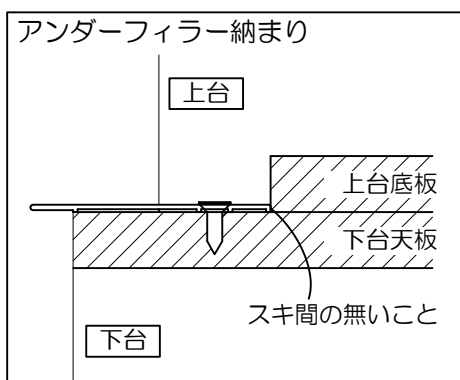
【3. キャビネットの壁面固定】

●壁面取付用の下穴より、付属ネジ(トラスタッピンネジ4.5×60)2本で壁面に取付けてください。

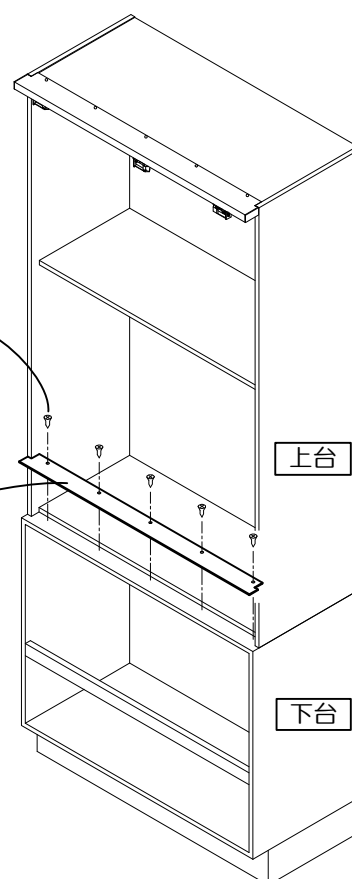
注) 壁面の取付枠に対してネジバカにならないように、しっかり固定されているか確認してください。

5. アンダーフィラーの取付 (引戸タイプのみ)

図の要領でアンダーフィラーを下台キャビネットに取付けてください。



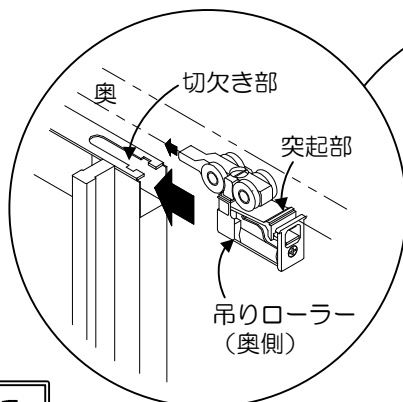
皿ネジ
4×14
5本



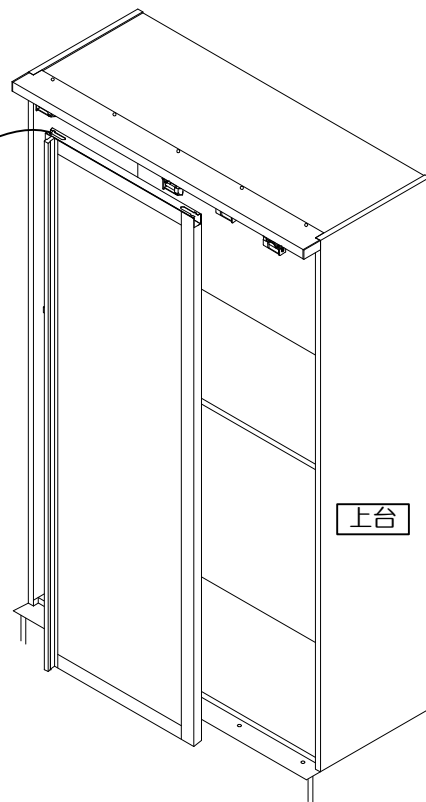
6. 引戸の吊り込み (引戸タイプのみ)

◆左引戸を吊る

引戸の上部左右の切欠き部に上レール奥の吊りローラーをパチンと音がするまで入れてください。



注) 突起部が切欠き部に確実に引っかかっていることを確認してください。
落下のおそれがあります。

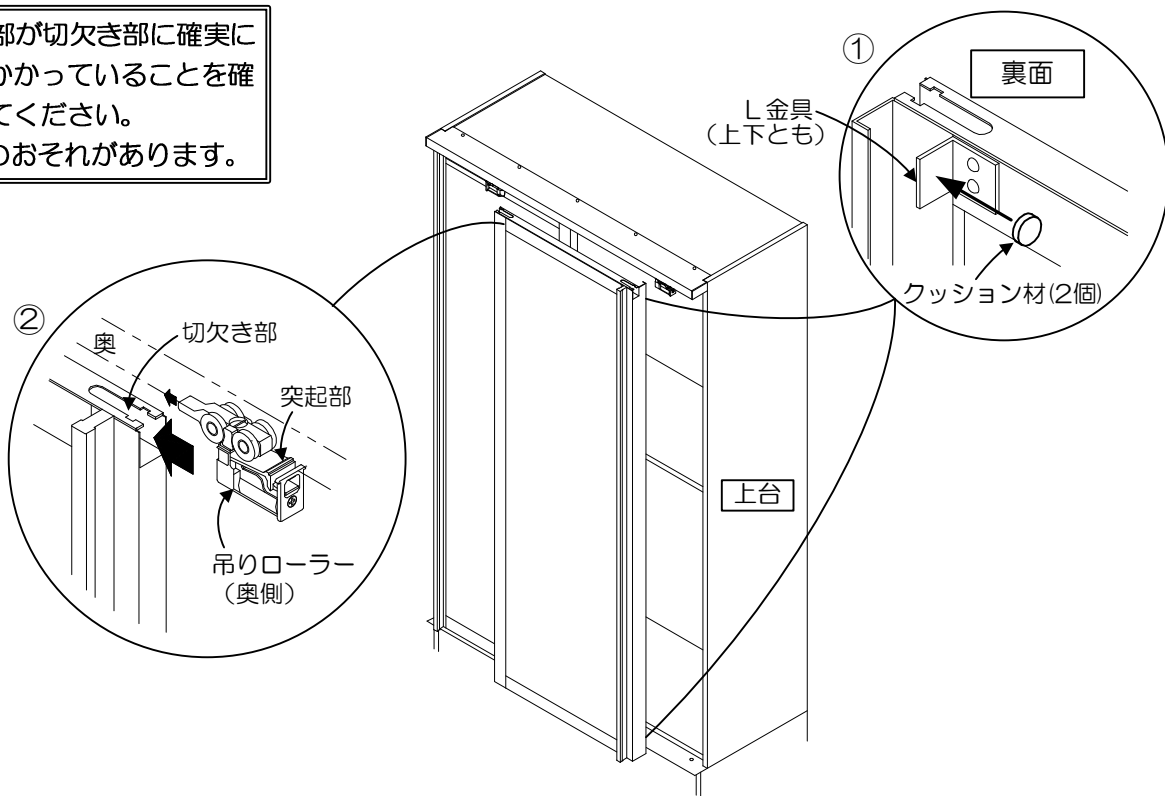


◆右引戸を吊る

引戸の上部左右の切欠き部に上レール奥の吊りローラーをパチンと音がするまで入れてください。

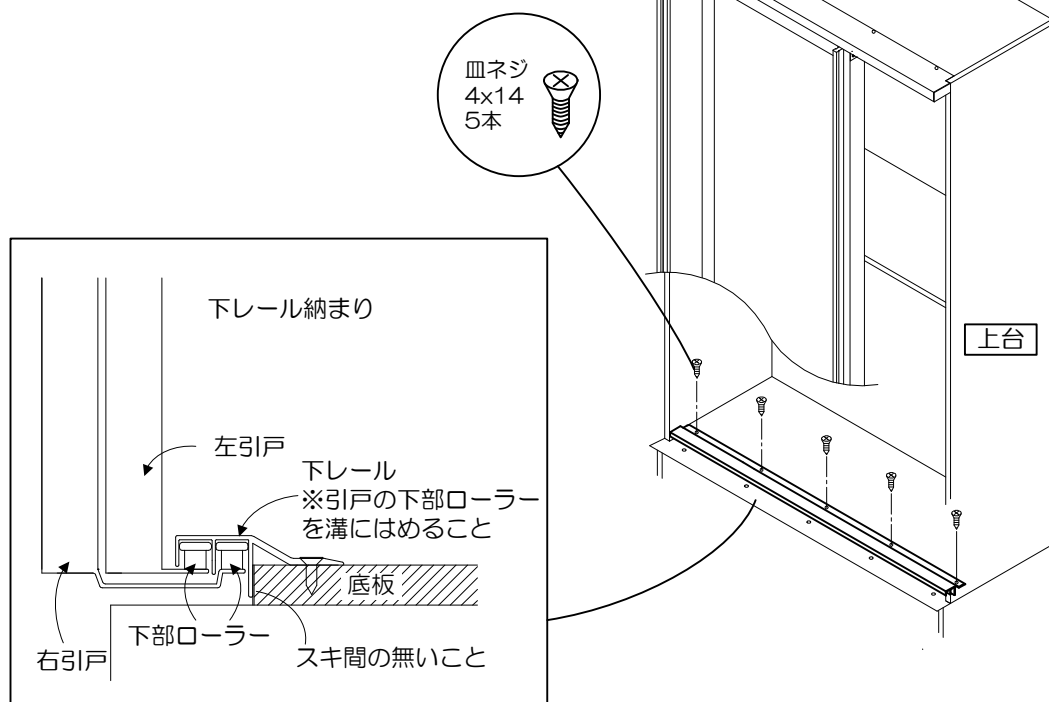
- ①吊り込みの前に引戸裏面の上下のL金具2箇所、付属のクッション材をそれぞれ貼り付けてください。
- ②引戸の上部左右の切欠き部に上レール奥の吊りローラーをパチンと音がするまで入れてください。

注) 突起部が切欠き部に確実に引っかかっていることを確認してください。
落下のおそれがあります。



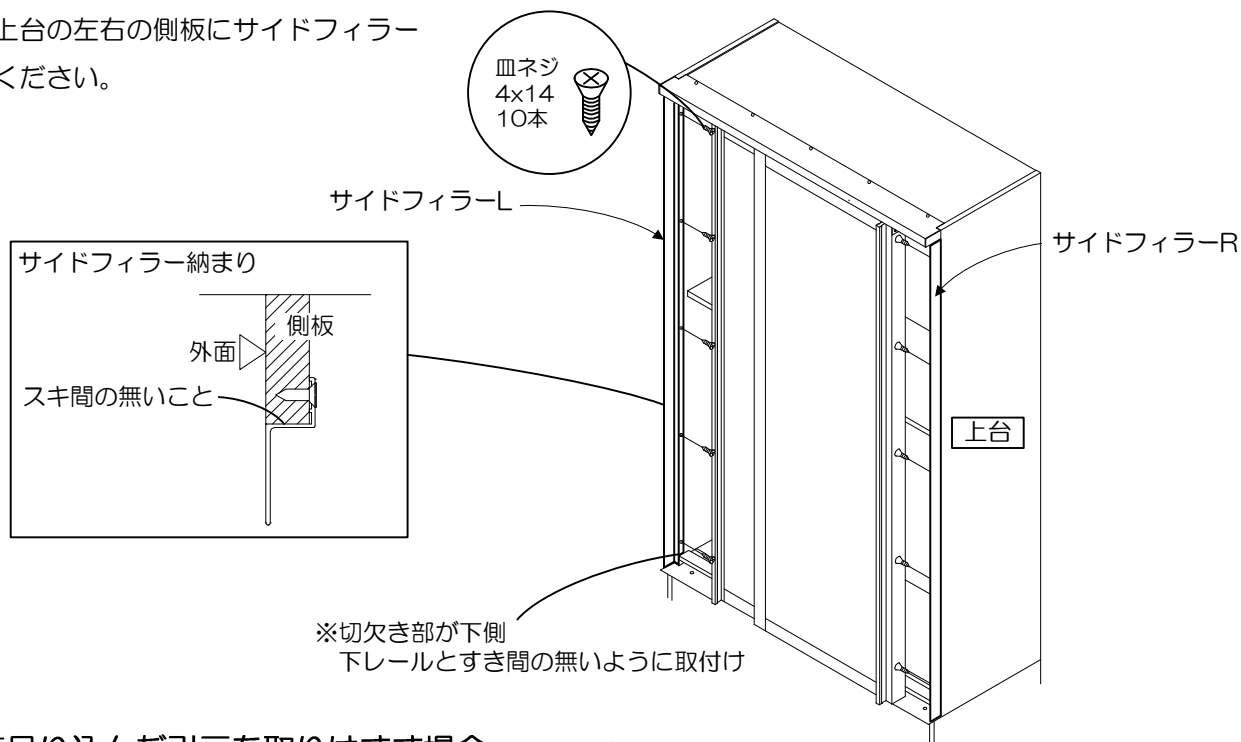
7. 下レールの取付 (引戸タイプのみ)

図の要領で上台の底板に下レールを取付けてください。



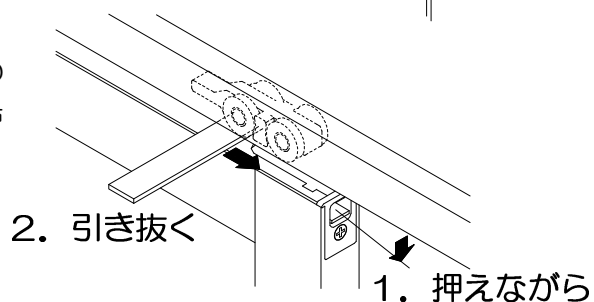
8. サイドフィラーの取付 (引戸タイプのみ)

図の要領で上台の左右の側板にサイドフィラーを取付けてください。



■一度吊り込んだ引戸を取りはずす場合

2mm以下の薄いさし金などで引戸上部左右の吊りローラーをスライドさせて引き抜き、引戸をはずしてください。



5. 点検および仕上げ

【1. 扉・引戸の確認】

- 扉の傾き、ガタツキや丁番のゆるみがないことを確認してください。また、引戸の場合、引戸が正しくレールに納まっているか、段違いがないか、閉止時に引戸の傾きなど異常が無いことを確認してください。
- 引戸タイプの場合、引戸を閉める時、閉まりきる直前にブレーキが掛かりゆっくり閉じるか確認してください。

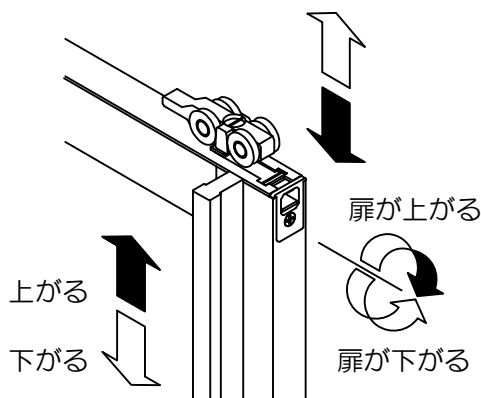
【2. 扉・引出・引戸の調整】

＜開き扉・スライド引出の場合＞

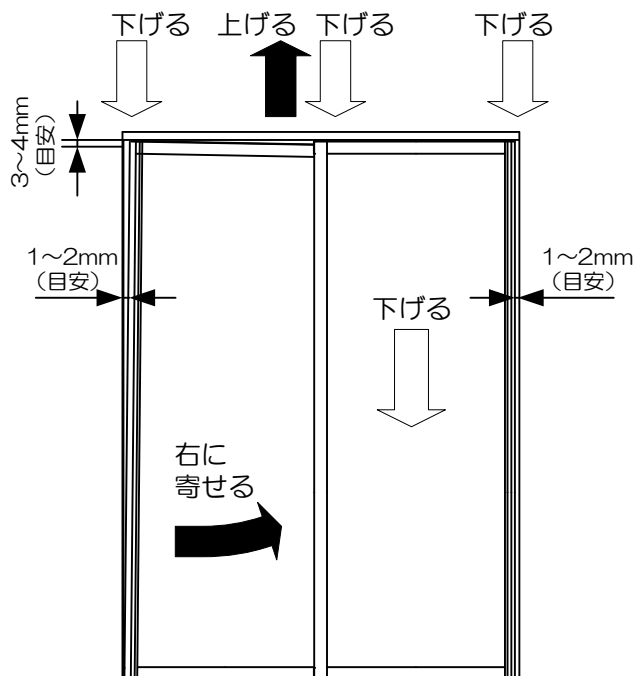
- 扉、引出の調整は、シンクキャビネットに付属の設置説明書にしたがって行ってください。

＜引戸の場合＞

- 扉上部のねじを回し、扉高さを調整します。



注) 扉の調整は必ず手回しドライバーで調整してください。電動ドライバーなどは使用しないでください。



- 耐震ラッチが取り付けられている場合、下記の手順で耐震ラッチの調整をおこなってください。

⚠ 注意



必ず実行

設置終了後、必ず下記の手順に従って作業を行う
地震の時作動しなかったり、通常使用時に支障をきたすことがあります。

耐震ラッチには、Sタイプ・Mタイプの2タイプがあります。

＜Sタイプの場合＞

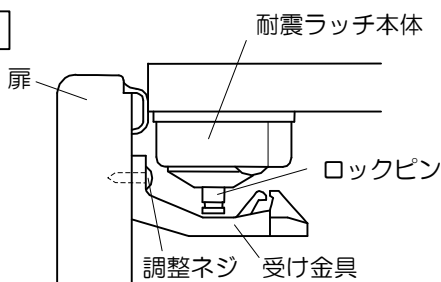
①耐震ラッチ本体に貼られているテープをはがしてください。

②受け金具が所定の位置にあるか下記要領で確認してください。

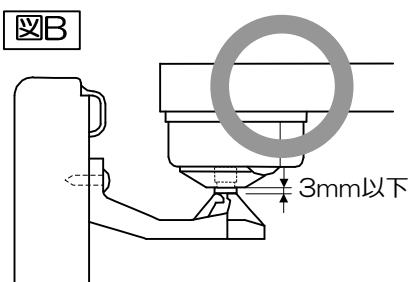
[1]扉を少しずつ開きながら受け金具がロックピンを押し上げるところまでゆっくりもってゆきます。(図A、B)

[2]図Bのようにロックピンが押し上げられてラッチ本体内に隠れる状態であればOKです。

図A



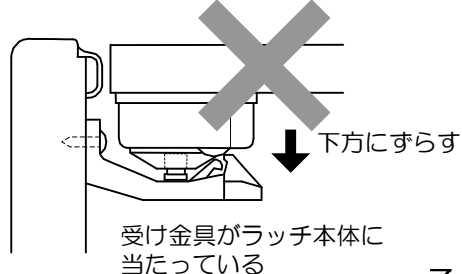
図B



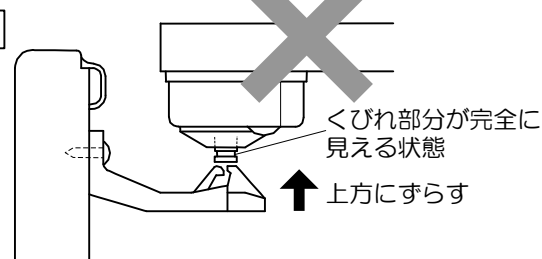
[3]図Cのように受け金具がラッチ本体に当たってしまう場合は、受け金具を下方にずらす必要があります。金具の調節ネジをゆるめて図Bの位置になるように調節してください。

[4]図Dのようにロックピンのくびれ部分が完全に見える場合は、受け金具を上方にずらす必要があります。金具の調節ネジをゆるめて図Bの位置になるように調節してください。

図C



図D

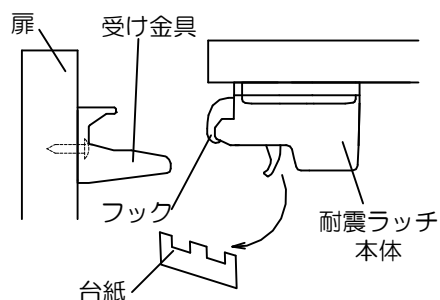


<Mタイプの場合>

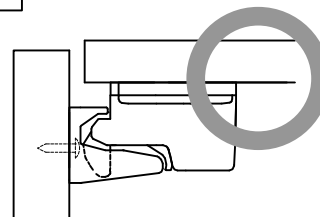
[1]耐震ラッチ本体とフックの間に挟んでいる台紙を取り外してください。(図E)

[2]扉をゆっくり閉めます。受け金具が耐震ラッチ本体の出っ張りの間に入り込めばOKです。(図F)

図E



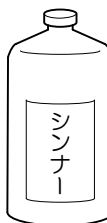
図F



【4. 清掃】

キャビネットの汚れ、ゴミ等は中性洗剤をつけた布でふき取ってください。

ご注意：溶剤、酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤、漂白剤は使用しないでください。
変色したり侵されるおそれがあります。



6. お願い事項

【1. 商品の養生】

●すべての設置が完了しましたら、キャビネットを保護養生してください。

【2. 梱包材その他設置部材の処理】

梱包資材等の不要部材は、法令にしたがって適正な処理をお願いします。

タカスタンダード株式会社

本社 〒536-8536 大阪府城東区鳴野東1丁目2番1号
TEL 06-6962-1531

10155817
3L-1